

令和7年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

福 祉

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 次の文は、「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）第3章第8節福祉「第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」より一部抜粋したものである。後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。…後略…
- (2) 福祉に関する各学科においては、「(A)」及び「(B)」を原則として全ての生徒に履修させること。
- (3) 福祉に関する各学科においては、原則として福祉科に属する科目に担当する総授業時数の(ア)以上を実験・実習に担当すること。
- (4) 「介護実習」や「(B)」における現場実習及び具体的な事例の研究や介護計画作成に際しては、(イ)に十分留意すること。
- (5) 地域や福祉施設、産業界等との連携・交流を通じた実践的な学習活動や(ウ)活動を積極的に取り入れるとともに、(エ)を積極的に活用するなどの工夫に努めること。

- (1) 文中の空欄(ア)～(エ)に適する語句等を答えよ。
- (2) 文中の空欄(A)、(B)について、次の①、②の問いに答えよ。
- ① それぞれ該当する科目名を答えよ。
- ② それぞれの科目が設けられた目的やねらいを説明せよ。
- (3) 教科福祉における、傍線部「対話的」な学びの学習活動の例を書け。

- 2 子ども家庭福祉について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文章を読み、空欄(ア)～(オ)に当てはまる語句を答えよ。

第二次世界大戦後の1947年に、現在の日本の子ども家庭福祉の基礎となる(ア)が制定され、1951年には、「すべての子どもの幸福をはかるため」として、日本国憲法にもとづき(イ)が定められた。

国際的な動きでは、1989年に国際連合で(ウ)が締結され、日本は1994年に批准した。そこには、子どもが(エ)の対象であるだけでなく、(オ)の主体であることが明文化されている。このことは、2016年に改正された(ア)の第1条においても、より明確に規定された。

- (2) 次の①、②について説明せよ。
- ① 放課後等デイサービス
- ② フードバンク
- (3) 地域の障害児が通所により指導・支援・訓練を受ける施設(療育の場)を何とよいか答えよ。

3 こころとからだの理解について、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 次の1～5は、認知症に関する取組として2019年に厚生労働省より発表された認知症施策推進大綱における5つの柱である。空欄(①)～(④)に当てはまる語句を答えよ。

- 1 (①)・本人発信支援
- 2 予防
- 3 医療・ケア・介護サービス・(②)への支援
- 4 認知症(③)の推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援
- 5 研究開発・産業促進・(④)

(2) 後のポジティブ心理学の創設につながる学習性無力感に関する研究を行った心理学者の名前を答えよ。

(3) 「サルコペニア」について説明せよ。

(4) 汗腺の種類を2つ答えよ。

(5) 介護福祉士、社会福祉士などで構成され、災害発生時に避難所などにおいて、中長期的な活動を視野に入れて介護や福祉のサービスをするチームの名称を答えよ。

4 障害者福祉について、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 2013年に施行された障害者総合支援法で、障害者の定義として新たに追加されたものを答えよ。

(2) 身体障害者手帳の交付対象となる身体障害者障害程度等級は、何級から何級まで定められているか答えよ。ただし障害が重複する場合を除く。

(3) 文部科学省が定義している、次の①、②の発達障害の名称を答えよ。

① 3歳くらいまでに現れ、他人との社会的関係の形成の困難さ、言葉の発達の遅れ、興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする行動の障害であり、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。

② 基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算するまたは推論する能力のうち、特定のものの習得と使用に著しい困難を示すさまざまな状態をさす。

(4) 精神障害者の生活支援や社会復帰を支援する専門職の名称を答えよ。

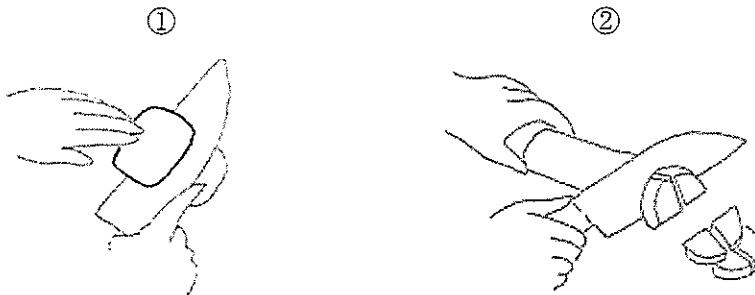
(5) 「社会的入院」とは何か説明せよ。

5 諸外国における社会福祉について、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

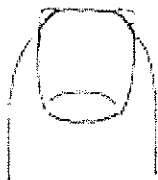
- (1) 国際連合が定めた国際障害者年（1981年）のテーマを答えよ。
- (2) 1834年、イギリスでは救貧法が改正され、「劣等処遇の原則」が徹底された。「劣等処遇の原則」とは何か説明せよ。
- (3) 1990年にアメリカで制定された、障害を理由とする差別を禁止する法律を書け。
- (4) デンマークのバンク・ミケルセンらが提唱した「ノーマライゼーション」とはどのような考え方が説明せよ。
- (5) スウェーデンやデンマークの社会福祉の特徴を説明せよ。

6 生活支援について、次の(1)～(7)の問いに答えなさい。

- (1) 地域支援事業について任意事業以外の2つを答えよ。
- (2) 福祉用具の役割を2つ答えよ。
- (3) 次の①、②の食材の切り方を答えよ。



- (4) ユニットケアとはどのような介護手法か答えよ。
- (5) 下の図の様に、足の爪をスクエアオフの形に整えることの利点を答えよ。



- (6) 経管栄養に用いられる栄養剤の種類は、用途に応じて2つに大別される。それぞれ何か答えよ。
- (7) 高熱時の応急手当をする際、クーリングする体の部位として挙げられる代表的な3箇所を答えよ。

7 介護過程について、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

- (1) 介護過程の全体を集約し、介護職による専門的なアセスメントから導き出された生活課題と介護の目標や手順が示されたものを何というか答えよ。
- (2) 介護保険制度の利用時に、介護支援専門員が作成する総合的な支援計画を何というか答えよ。
- (3) 生活課題の解決のために必要とされる、フォーマルなサービスとインフォーマルなサービスについて、それぞれ説明せよ。
- (4) 介護過程において必要となる情報について、次の①、②の問いに答えよ。
 - ① 診断結果や体温、血圧など数字やデータで表すことのできる情報を何というか答えよ。
 - ② 痛みや苦痛、希望や要望などの訴えや感覚的な情報を何というか答えよ。

福 祉 解 答 用 紙	2 枚 中 の 1	受 験 番 号		氏 名	
-------------	-----------	---------	--	-----	--

(7年)

1

(1)	ア		イ		ウ		エ	
(2)	①	Λ			B			
	②	Λ						
		B						
(3)								

2

(1)	ア		イ		ウ	
	エ		オ			
(2)	①					
	②					
(3)						

3

(1)	①		②		③		④	
(2)								
(3)								
(4)								
(5)								

4

(1)								
(2)								
(3)	①					②		
(4)								
(5)								

福 祉 解 答 用 紙	2 枚 中 の 2	受 験 番 号		氏 名	
-------------	-----------	---------	--	-----	--

(7年)

5

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

6

(1)		
(2)		
(3)	①	②
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		

7

(1)		
(2)		
(3)	フォーマルなサービス	
	インフォーマルなサービス	
(4)	①	②

以下はあくまでも解答の一例です。

福祉 解答用紙	2枚中の1	受験番号	氏名
---------	-------	------	----

(7年)

1

(1)	ア	10分の5 (3)	イ	プライバシーの保護 (3)	ウ	就業体験 (3)	エ	社会人講師 (3)
(2)	①	A	社会福祉基礎 (4)		B	介護総合演習 (4)		
	②	A	教科「福祉」における基礎的・基本的な内容を学び、より専門的な学習への動機付けや卒業後の進路についての生徒の意識を高めるため。 (4)					
		B	・自ら課題を発見して解決する能力や生涯にわたって自発的、創造的に学習に取り組む態度を育てるため。 ・福祉に関する学習の上に、生徒が自ら設定した課題を主体的に探求して解決する学習を通して、知識と技術の深化、統合化を図るため。 (4)					
(3)	福祉課題について調査・検証する際に、生徒同士が科学的な根拠に基づく議論を通して、自分の考えの質をより高めることができる学習活動。 など (4)							

2

(1)	ア	児童福祉法 (4)	イ	児童憲章 (4)	ウ	子どもの権利条約 (4)
	エ	保護 (4)	オ	権利 (4)		
(2)	①	就学中の障害児に対して、自立促進等を図るために、放課後や夏休みなどに生活能力向上のための訓練などを継続的に提供するサービス。 (4)				
	②	食べられるのに流通に出せない食品を企業が寄付し、それを必要としている団体や困窮世帯等に無償で提供する活動(4)				
(3)	児童発達支援センター、療育センター など (4)					

3

(1)	①	普及啓発 (3)	②	介護者 (3)	③	バリアフリー (3)	④	国際展開 (3)
(2)	セリグマン (3)							
(3)	加齢や疾患により、筋肉量が減少することで、握力や下肢筋、体幹筋など全身の筋力低下が起こること。 (4)							
(4)	アポクリン腺 (3)				エクリン腺 (3)			
(5)	災害派遣福祉チーム(DWAT, DCAT) (4)							

4

(1)	難病等 (4)							
(2)	1級から6級 (4)							
(3)	①	自閉症 (3)			②	学習障害 (LD) (3)		
(4)	精神保健福祉士 (3)							
(5)	症状が安定していて入院の必要が無いにもかかわらず、退院後の受け皿がないために継続して入院していること。 (4)							

福祉 解答用紙	2枚中の2	受験番号	氏名	(7年)
---------	-------	------	----	------

5

(1)	完全参加と平等 (4)
(2)	救済を受けている者の生活水準を、救済を受けずに生活している労働者以下の状態にするという原則 (4)
(3)	障害を持つアメリカ人法 (ADA) (3)
(4)	障害のある人たちが障害のない人と同じように生活できるように社会を変えていこうとする考え方 (4)
(5)	(高負担・高福祉のシステムを取り入れ、) 税金を財源として格差を是正しつつ、国民全員を対象に福祉サービスを提供する普遍主義のシステムを発展させたこと。 (4)

6

(1)	介護予防・日常生活支援総合事業 (4)	包括的支援事業 (4)	
(2)	自立を助ける (3)		
	機能訓練 ※社会参加や自己実現を助ける、尊厳や権利の回復なども可 (3)		
(3)	① そぎ切り (3)	② いちよう切り (3)	
(4)	居宅に近い居住環境のもと、在宅での生活に近い日常の生活のなかで介護を行うこと。 (4)		
(5)	立ち上がりや歩行時に、足の先に力をいれやすい。巻き爪を防ぐことができる。 など (4)		
(6)	液体栄養剤 (3)	(ゼリー状の) 半固形化栄養剤 (3)	
(7)	頸部 (くび) または頭 (3)	腋窩部 (わき) (3)	鼠径部 (股関節) (3)

7

(1)	介護計画 (4)	
(2)	ケアプラン (4)	
(3)	フォーマルなサービス	介護保険制度や医療費の助成など、公的な制度や社会サービスのこと (4)
	インフォーマルなサービス	近隣住民や友人、ボランティアなど、明確に組織化されていない集まりや団体によるサービスのこと (4)
(4)	① 客観的情報 (4)	② 主観的情報 (4)